

## 「日中観光の現状から 中国社会・政治を見る」講演概要

日中国交回復から40年となる中、2012年9月の日本政府による尖閣諸島（中国語名：釣魚島）の国有化を機に、中国への日本人観光客・日本への中国人観光客が激減している。日中友好関係の歴史が危ぶまれている。日本・中国にとって、経済・貿易上、かつて無いほど重要な関係であるはずの両国が、今この「尖閣諸島（中国語名：釣魚島）問題」から大きな影響を受けている。

その原因は、表上の「領土主権」以外に、いったい何があるのだろうか。それは、中国共産党政権内部の権力闘争、中国国内の問題点【三公消費：公務による海外出張・公用車購買と維持・公務接待、そして新たな三つの大きな山となっている問題：住宅・医療・教育費】や社会現象【住宅強制解体・蟻族・世界一高価な車のナンバープレート料・不動産所得税節税の為の不当な婚姻・香港粉ミルク・上海豚の大量死・新型鳥インフルエンザなど】、これらについて分かりやすく説明をします。

